

(別表2) アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時 実施予定施策】	施策の実施状況 (平成25年度～平成30年度)	施策の実施状況の分析・評価	今後の取組(令和元年度以降)	実施機関		
4-1	いなげの浜 ～ 幕張の浜周辺	快適に水遊び ができる	裸足で遊べる、いつでも 安全で気持ちよい海							
			家族連れでも気軽に水 遊びを楽しめる海							
		「江戸前」をは じめ多くの生物 が生息する	多様な生物が生息し、 豊富な「江戸前」の恵み が得られる海							
			「江戸前」の味や文化を 世界に発信できる海							
		親しみやすい	海辺に行きやすく、身近 で安心できる海	千葉市中央処理区における、吐き口のスク リーン設置、貯留・浸透施設等、合流式下水 道の改善を図る。	・千葉市中央処理区において、雨水滞水池を建設 (整備)したとともに、夾雑物等の除去施設を8箇 所設置した。(平成25年度末で合流式下水道緊急 改善事業が完了した。) ・以下の浸透施設を設置した。 浸透樹:501個、浸透トレンチ:1755m、浸透マン ホール:8基	・平成26年度に千葉市合流式下水道緊急改善計 画の事後評価を実施した。評価の結果、各施策内 容の目標(排出する汚濁負荷量を合流式下水道 以下、越流回数を半減および夾雑物の流出防止) を達成している。 ・貯留浸透施設については、面源からの汚濁負荷 削減に寄与している。	・現在中央浄化センター高度処理施設工事をおこ なっており、既存の水処理施設の有効利用による 雨水滞水池の整備により、さらに公共用水域の水 質向上に努める。 ・貯留浸透施設については、面源からの汚濁負荷 削減に寄与していることから整備を推進する。	千葉市建設局		
			子どもからお年寄りま で、いつでも楽しめ、驚 きや感動がある海							
		美しい	赤潮や青潮が発生しな い海	千葉市南部浄化センター及び中央浄化セン ターにおける高度処理設備を導入する。	・平成19年度に着工した、千葉市南部浄化セン ターC系水処理施設工事(高度処理施設)が平成 29年度末に竣工し、南部浄化センターにおける高 度処理施設能力は約18.8万m <sup>3</sup> /日となった。	・千葉市南部浄化センターにおいて、現有施設能 力、約26万m <sup>3</sup> /日を有しており、そのうち高度処理 施設能力は約73%となった。また、A系5～8系列 においては、段階的の高度処理の導入を検討した が、計画汚水量に対する水処理能力が減少され ることに加え、対象の主要設備の更新時期が目前 であることから、更新時期に併せて高度処理化を 図る方針とした。	・南部浄化センターおよび中央浄化センターにお いて、引き続き高度処理化に向けた取組を推進す る。	千葉市建設局		
					・公共下水道の管渠及び終末処理場を整備した。	・公共下水道の管渠及び終末処理場を整備し下 水道への接続を促進したことにより、下水道の普 及が進んでいる。	・公共下水道の管渠を整備する。	千葉県 県土整備部		
			背後の都市景観と調和 した美しい海	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転 換促進、高度処理型浄化槽の設置等を推進 する。	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促 進、高度処理型浄化槽の設置等を推進した。	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促 進、高度処理型浄化槽の設置等を推進している。	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促 進、高度処理型浄化槽の設置等を推進する。	千葉市環境局		

(別表2) アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時] 実施予定施策	施策の実施状況 (平成25年度～平成30年度)	施策の実施状況の分析・評価	今後の取組(令和元年度以降)	実施機関
		首都圏にふさわしい	最先端の科学的知見が充実した賢い海 東京湾岸で活動する様々な人や企業が、楽しみながら環境再生に取り組んでいる海					
		快適に水遊びができる	裸足で遊べる、いつでも安全で気持ちよい海 家族連れでも気軽に水遊びを楽しめる海					
		「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する	多様な生物が生息し、豊富な「江戸前」の恵みが得られる海 「江戸前」の味や文化を世界に発信できる海		・底生生物及び海域環境調査を実施した(平成26年度)。 ・稚魚生息状況調査(月1回、年12回)を実施した(平成27年度)。 ・鳥類個体数調査(月2回、年24回)を実施した(平成25～30年度)。	・実施した調査について経年的にデータを蓄積している。	引き続き三番瀬及びその周辺において、24回(月2回)の鳥類個体数調査を実施していく。	千葉県環境生活部
		海辺に行きやすく、身近で安心できる海						
4 - 2	三番瀬周辺	親しみやすい	子どもからお年寄りまで、いつでも楽しめ、驚きや感動がある海	県ウェブサイトの更新や、県民だより等を活用した情報発信を行う。 写真展等を実施し、三番瀬の魅力について広報活動を行う。 三番瀬の標語、シンボルマーク及びマスコットキャラクターについて、県のウェブサイト上での情報・素材の提供、県庁名刺作成システムへの登録・普及等を行う。	ウェブサイト等による情報発信などの広報活動を実施した。 エコメッセちばで写真を展示し、広報活動を実施した。 三番瀬の標語、シンボルマーク及びマスコットキャラクターについて、県のウェブサイト上で情報・素材を提供した。	広報活動を通じて三番瀬の魅力を発信し、三番瀬と触れ合う機会を提供した。 広報活動を通じて三番瀬の魅力を発信し、三番瀬と触れ合う機会を提供した。 広報活動を通じて三番瀬の魅力を発信し、三番瀬と触れ合う機会を提供した。	引き続きウェブサイト等による情報発信などの広報活動を実施する。 引き続きエコメッセちばで写真を展示し、広報活動を実施する。 引き続き三番瀬の標語、シンボルマーク及びマスコットキャラクターについて、県のウェブサイト上で情報・素材を提供する。	千葉県環境生活部

(別表2)アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時 実施予定施策】	施策の実施状況 (平成25年度～平成30年度)	施策の実施状況の分析・評価	今後の取組(令和元年度以降)	実施機関
		美しい	赤潮や青潮が発生しない海	江戸川左岸流域下水道の幹線管渠の整備、処理場施設を整備する。	・江戸川左岸流域下水道の市川幹線が平成27年度に、松戸幹線が平成28年度に供用開始した。	・江戸川左岸流域下水道市川幹線及び松戸幹線の供用開始により、下水道の普及が進んでいる。	・江戸川左岸流域下水道江戸川第一終末処理場施設を整備する。	千葉県 県土整備部
			背後の都市景観と調和した美しい海	当地区に流入する河川(江戸川)において、今後も継続して河川の浄化対策(直接浄化の稼働)に取り組む。また、湿地等の自然再生を行う。	・当地区に流入する河川(江戸川)において、河川の直接浄化施設による水質浄化を継続して実施した。 ・江戸川支川利根運河において浚渫による河川浄化対策を実施した。 ・環境基準を大幅に上まわっている利根運河の水環境改善対策として、利根川から利根運河へ導水するポンプの設置(0.5m <sup>3</sup> /s)を実施した。 ・江戸川1箇所において自然再生を実施した(平成27年度)。	河川浄化や浚渫、干潟再生を実施し、東京湾に流入する有機汚濁および窒素・りん等の削減に寄与している。	・河川の浄化対策を引き続き実施する。 ・実施後の環境変化についてモニタリングを実施する。	国土交通省水管理・国土保全局 (関東地方整備局 河川部)
			単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や、高度処理型浄化槽の設置を促進する。	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、高度処理型浄化槽の設置等を推進した。	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、高度処理型浄化槽の設置等を推進している。	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、高度処理型浄化槽の設置等を推進する。	千葉県 環境生活部	
		首都圏にふさわしい	最先端の科学的知見が充実した賢い海 東京湾岸で活動する様々な人や企業が、楽しみながら環境再生に取り組んでいる海	NPOなどによる三番瀬の保全と再生を目的に開催される活動について後援等を行う。	NPOなどが実施する三番瀬関連イベントについて後援を行った。	市民活動団体等が実施する三番瀬関連イベントを後援し、三番瀬での東京湾再生活動を支援した。	引き続き市民活動団体等が実施する三番瀬関連イベントに対する後援を実施する。	千葉県 環境生活部
		快適に水遊びができる	裸足で遊べる、いつでも安全で気持ちよい海					
			家族連れでも気軽に水遊びを楽しめる海		・葛西海浜公園西なぎさにおいて、市民団体が海水浴体験イベントを実施した。(平成24・25年度)。 ・葛西海浜公園西なぎさにおいて、東京都と市民団体等が連携して海水浴社会実験を実施した(平成26・27年度)。 ・葛西海浜公園西なぎさにおいて、平成28年度以降も東京都と市民団体等が連携して海水浴体験を継続実施している(平成28年度約5万3千人、平成29年度約3万5千人、平成30年度約4万5千人が参加)。 ・また、葛西海浜公園においては、海水浴期間中の日程・祝日に、漁業体験、和船乗船体験、生物観察などの各種の体験を行う「里海まつり」が開催された。	多くの人が海水浴を楽しむことができた。	引き続き、海水浴体験イベントの実施を予定している。	東京都港湾局
			多様な生物が生息し、豊富な「江戸前」の恵みを得られる海		水生生物調査(鳥類、稚魚)を実施した。	継続して調査を実施している。 調査結果は、速報を含め、ウェブサイトで公表している。	引き続き継続して実施する。	東京都環境局
		「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する		干潟生き物観察会・野鳥観察会・コアシサンの子育て環境づくりを定期的に実施した。	多くの人が海辺の多様な生き物を観察することができた。	引き続き、干潟生き物観察会・野鳥観察会の定期的な実施を予定している。	東京都港湾局	
			「江戸前」の味や文化を世界に発信できる海		葛西臨海公園西なぎさにおいて、市民団体等により「のり」とわかめの育成及び「のりすき体験・試食イベント」が実施された。	多くの人が江戸前の味であるのりやわかめについて理解を深めることができた。	引き続き、のりとわかめの育成及び「のりすき体験・試食イベント」の実施が予定されている。	東京都港湾局

(別表2) アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時実施予定施策】	施策の実施状況 (平成25年度～平成30年度)	施策の実施状況の分析・評価	今後の取組(令和元年度以降)	実施機関
4-3	葛西海浜公園周辺	親しみやすい	海辺に行きやすく、身近で安心できる海					
			子どもからお年寄りまで、いつでも楽しめる、驚きや感動がある海		・葛西海浜公園西なぎさにおいて、市民団体が海水浴体験イベントを実施した。(平成24・25年度)。 ・葛西海浜公園西なぎさにおいて、東京都と市民団体等が連携して海水浴社会実験を実施した(平成26・27年度)。 ・葛西海浜公園西なぎさにおいて、平成28年度以降も東京都と市民団体等が連携して海水浴体験を継続実施している(平成28年度約5万3千人、平成29年度約3万5千人、平成30年度約4万5千人が参加)。 ・また、葛西海浜公園においては、海水浴期間中の日程・祝日に、漁業体験、和船乗船体験、生物観察などの各種の体験を行う「里海まつり」が開催された。	多くの人が海水浴を楽しむことができた。	引き続き、海水浴体験イベントの実施を予定している。	東京都港湾局
		美しい	赤潮や青潮が発生しない海	荒川水循環センター、新河岸川水循環センター、中川水循環センター等における高度処理を実施する。	・荒川、中川水循環センターにおいて高度処理を実施。新河岸川、中川水循環センターにおいて段階的の高度処理を実証実験を経て事業計画に位置付けた。 ・元荒川、古利根川水循環センターにおいて段階的の高度処理実証実験を開始した。	高度処理、段階的の高度処理を導入した処理場の放流水質は向上している。	・荒川、元荒川、古利根川水循環センターにおいて段階的の高度処理を実施予定。	埼玉県下水道局
					・江戸川左岸流域下水道の市川幹線が平成27年度に、松戸幹線が平成28年度に供用開始した。 ・公共下水道の管渠及び終末処理場を整備した。	・江戸川左岸流域下水道市川幹線及び松戸幹線の供用開始により、下水道の普及が促進された。 ・公共下水道の管渠及び終末処理場を整備し下水道への接続を促進したことにより、下水道の普及が進んでいる。	・江戸川左岸流域下水道江戸川第一終末処理場施設を整備する。 ・公共下水道の管渠を整備する。	千葉県 県土整備部
					葛西水再生センターに準高度処理を導入した。	葛西水再生センターへの準高度処理導入により早期の水質改善に寄与している。	・砂町、葛西の両水再生センターに準高度処理の導入を進める。 ・葛西水再生センターに新たな高度処理の導入を進める。	東京都下水道局
背後の都市景観と調和した美しい海	当地区に流入する河川(綾瀬川)において、今後も継続して河川の浄化対策(直接浄化の稼働)に取り組む。また、荒川において干潟等の自然再生を行う。	・当地区に流入する河川(綾瀬川)において、河川の直接浄化施設による水質浄化を継続して実施した。(平成29年度まで) 江戸川支川利根運河において、利根川からの導水による河川浄化対策を実施した。 ・荒川において自然再生(H26:1箇所、H27:1箇所、H28:2箇所、H29:1箇所、H30:1箇所)を実施した。	河川浄化や自然再生を実施し、東京湾に流入する有機汚濁および窒素・りん等の削減に寄与している。	・河川の自然再生を引き続き実施する。 ・実施後の環境変化についてモニタリングを実施する。	国土交通省水管理・国土保全局 (国土交通省関東地方整備局河川部)			
首都圏に ふさわしい	最先端の科学的知見が充実した賢い海		干潟生き物観察会・野鳥観察会・コアジサシの子育て環境づくりを定期的の実施した。	多くの人が海辺の多様な生き物を観察することができた。	引き続き、干潟生き物観察会・野鳥観察会の定期的な実施を予定している。	東京都港湾局		
	東京湾岸で活動する様々な人や企業が、楽しみながら環境再生に取り組んでいる海		葛西臨海公園西なぎさにおいて、市民団体等により「のりとわかめの育成及びのりすき体験・試食イベント」が実施された。	多くの人が江戸前の味であるのりやわかめについて理解を深めることができた。	引き続き、のりとわかめの育成及びのりすき体験・試食イベントの実施が予定されている。	東京都港湾局		

(別表2)アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時 実施予定施策】	施策の実施状況 (平成25年度～平成30年度)	施策の実施状況の分析・評価	今後の取組(令和元年度以降)	実施機関
4 - 4	お台場周辺	快適に水遊びができる	裸足で遊べる、いつでも安全で気持ちよい海	三河島水再生センターの一部施設に段階的 高度処理施設を整備する。	・新河岸水再生センターに準高度処理の導入を進めた。 ・芝浦水再生センターに準高度処理の導入を進めた。	・新河岸水再生センターへの準高度処理導入により早期の水質改善に寄与している。 ・芝浦水再生センターへの準高度処理導入により早期の水質改善に寄与している。	・中野、新河岸の両水再生センターに準高度処理の導入を進める。 ・三河島水再生センターに準高度処理の導入を進める。	東京都下水道局
			家族連れでも気軽に水遊びを楽しめる海	芝浦水再生センターに貯留施設を増設するとともに、高速ろ過施設を導入し、雨天時の簡易放流水質の向上を図る。	芝浦水再生センターに貯留施設を増設(76,000m <sup>3</sup> )した。	芝浦水再生センターに貯留施設を予定通り増設し、雨天時の簡易放流水質の向上に貢献している。	区部で将来目標360万m <sup>3</sup> に向けて貯留施設の整備を進める。	
			「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する	多様な生物が生息し、豊富な「江戸前」の恵みが得られる海	水生生物調査(鳥類、稚魚)を実施した。	継続して調査を実施している。 調査結果は、速報を含め、ウェブサイトで公表している。	引き続き継続して実施する。	東京都環境局
		親しみやすい	「江戸前」の味や文化を世界に発信できる海	東京港において、以下の取組を実施した。 お台場海浜公園で、地元の小学校を対象に、のりづくり体験学習イベントを、小学校PTA、NPO、地元区と協働して開催した。 (平成25年度3回、平成26年度3回、平成27年度3回、平成28年度3回、平成29年度3回、平成30年度2回)	お台場海浜公園において港区等が海水浴イベント「お台場海水浴」を開催 平成27年度 298人(2日間) 平成28年度 512人(2日間) 平成29年度 538人(2日間) 平成30年度 6,431人(6日間)	多くの人が海水浴を楽しむことができた。	引き続き、海水浴体験イベントの実施を予定している。	東京都港湾局
		海辺に行きやすく、身近で安心できる海	海浜の清掃活動を推進する。	ボランティアによる海浜清掃を開催した。 平成25年度:1,416人参加、0.7tのゴミを回収 平成26年度:1,608人参加、0.6tのゴミを回収 平成27年度:1,669人参加、0.6tのゴミを回収 平成28年度:2,384人参加、0.7tのゴミを回収 平成29年度:2,529人参加、0.8tのゴミを回収 平成30年度:2,632人参加、0.5tのゴミを回収	芝浦水再生センターに貯留施設を増設し、雨天時の簡易放流水質の向上に貢献している。	多くの参加者のもと清掃活動が行われ、親水性の向上、水辺環境の改善が図られた。	引き続き、海浜清掃イベントの開催を予定している。	東京都港湾局
		子どもからお年寄りまで、いつでも楽しめる、驚きや感動がある海		駅伝、ビーチテニス、シクロクロスなど海辺を活用したイベントを実施した(平成25～30年度)。	芝浦水再生センターに貯留施設を増設し、雨天時の簡易放流水質の向上に貢献している。	多くの人が海に親むことができた。	引き続き、同イベントの開催を予定している。	東京都港湾局

(別表2)アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時 実施予定施策】	施策の実施状況 (平成25年度～平成30年度)	施策の実施状況の分析・評価	今後の取組(令和元年度以降)	実施機関			
		美しい	赤潮や青潮が発生しない海	三河島水再生センターの一部施設に段階的 高度処理施設を整備する。	・新河岸水再生センターに準高度処理の導入を進 めた。 ・芝浦水再生センターに準高度処理の導入を進め た。	・新河岸水再生センターへの準高度処理導入によ り早期の水質改善に寄与している。 ・芝浦水再生センターへの準高度処理導入によ り早期の水質改善に寄与している。	・中野、新河岸の両水再生センターに準高度処理 の導入を進める。 ・三河島水再生センターに準高度処理の導入を進 める。	東京都下水道局			
				芝浦水再生センターに貯留施設を増設すると ともに、高速ろ過施設を導入し、雨天時の簡 易放流水質の向上を図る。	芝浦水再生センターに貯留施設を増設 (76,000m <sup>3</sup> )した。	芝浦水再生センターに貯留施設を予定通り増設 し、雨天時の簡易放流水質の向上に貢献した。	区部で将来目標360万m <sup>3</sup> に向けて貯留施設の整 備を進める。				
				海浜の清掃活動を推進する。	隅田川流域において、浚渫を実施した。	隅田川流域においては、浚渫により、汚濁負荷量 の削減に寄与している。	隅田川流域においては、今後も計画的・継続的に 浚渫を実施する。		東京都建設局		
			背後の都市景観と調和 した美しい海		荒川、新河岸川水循環センター等において高度 処理を実施。新河岸川水循環センターにおいて段 階的の高度処理を実証実験を経て事業計画に位置付 けた。	高度処理、段階的の高度処理を導入した処理場の 放流水質は向上している。	・荒川、元荒川、古利根川水循環センターにおい て段階的の高度処理を実施予定。	埼玉県下水道局			
					イルミネーションアイランドお台場、お台場レイン ボー花火を実施した(平成26～平成30年度)。	多くの人が海辺で楽しむことができた。	引き続き、同イベントの開催を予定している。	東京都港湾局			
				海浜の清掃活動を推進する。	ボランティアによる海浜清掃を開催した。 平成25年度:1,416人参加、0.7tのゴミを回収 平成26年度:1,608人参加、0.6tのゴミを回収 平成27年度:1,669人参加、0.6tのゴミを回収 平成28年度:2,384人参加、0.7tのゴミを回収 平成29年度:2,529人参加、0.8tのゴミを回収 平成30年度:2,632人参加、0.5tのゴミを回収	多くの参加者のもと清掃活動が行われ、親水性の 向上、水辺環境の改善が図られた。	引き続き、海浜清掃イベントの開催を予定してい る。				
			首都圏に ふさわしい	最先端の科学的知見が 充実した賢い海							
				東京湾岸で活動する 様々な人や企業が、楽 しみながら環境再生に 取り組んでいる海	お台場海浜公園内にある「鳥の島」の清掃活動及 び自然観察を実施し、124人の参加者により0.58t のゴミを回収した。(平成25～26年度)	イベント等の積極的な開催により、多くの市民がア ピールポイントに足を運ぶことで、市民への啓発 につながる。また、NPO等が取り組むお台場周辺 での東京湾再生活動を支援している。		関東地方整備局 港湾空港部			
				快適に水遊び ができる	裸足で遊べる、いつでも 安全で気持ちよい海						
					家族連れでも気軽に水 遊びを楽しめる海						
「江戸前」をは じめ多くの生物 が生息する	多様な生物が生息し、 豊富な「江戸前」の恵み が得られる海	多摩川河口干潟の生物調査を行う。		多摩川河口干潟において生物調査を実施した。	継続して調査を実施している。	引き続き継続して実施する。	川崎市環境局				
	「江戸前」の味や文化を 世界に発信できる海		底生生物調査を実施した。	継続して調査を実施している。 調査結果は、速報を含め、ウェブサイトで公表して いる。	引き続き継続して実施する。	東京都環境局					

(別表2)アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時】 実施予定施策	施策の実施状況 (平成25年度～平成30年度)	施策の実施状況の分析・評価	今後の取組(令和元年度以降)	実施機関
4 - 5	多摩川河口 周辺	親しみやすい	海辺に行きやすく、身近 で安心できる海	雨水吐き室におけるスクリーン施設の設置の 検討等の合流式下水道の改善を推進する。	夾雑物流出防止に向けて、丸子吐口(自然吐) などに水面制御装置を設置。また、京町ポンプ場 ほか7箇所のポンプ場スクリーン設備の目幅縮小 を実施した。 未処理放流回数等の削減に向けて大師河原貯 留管および六郷遮集幹線の整備を推進した。	夾雑物流出防止に向けて、全ての自然吐きに おいて対策が完了し、14箇所中13箇所のポンプ場 においてスクリーン設備の目幅縮小が実施済みと なっている。 未処理放流回数および汚濁負荷の削減に向け て、4つの滞水池と2つの貯留管が整備済みであ り、令和5年度(平成35年度)までの完成を目指 し、大師河原貯留管および六郷遮集幹線の整備 を着実に推進した。	残るポンプ場におけるスクリーン設備の目幅縮 小については、現在再構築事業にあわせて実施 中。 未処理放流回数等の削減に向け、六郷遮集幹 線の整備および大師河原ポンプ場の改築を推進 する。	川崎市 上下水道局
		美しい	赤潮や青潮が発生しな い海	川崎市等々力水処理センターにおける高度 処理を推進する。  川崎市入江崎水処理センターにおける高度 処理を推進する。	下水道未接続排水の適正処理の推進として既存 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を 実施した。  等々力水処理センターにおいては、高度処理化 に向け流量調整池や脱窒ろ過池の建設を推進し た。  入江崎水処理センター西系再構築事業により、 施設の高度処理化に向けた事業を推進し、平成 30年度に事業が完了した。	毎年、着実に既存単独浄化槽から合併処理浄化 槽への転換を進めている。  等々力水処理センターでは、高度処理化に向 けて各施設の建設を着実に推進した。  平成30年度末に入江崎水処理センター西系再 構築事業が完了し、西系の全系列で高度処理運 転を開始した。	下水道未接続排水の適正処理を推進する。  高度処理化に向けた事業の推進や段階的 高度処理の導入、汚泥処理施設からの返流水対策の 実施など、東京湾に流出する汚濁負荷のより一層 の削減に向け、事業の推進を図る。  高度処理化に向けた事業の推進や段階的 高度処理の導入、汚泥処理施設からの返流水対策の 実施など、東京湾に流出する汚濁負荷のより一層 の削減に向け、事業の推進を図る。	川崎市環境局  川崎市 上下水道局
		美しい	背後の都市景観と調和 した美しい海	当地区に流入する河川(多摩川)において、 干潟等の自然再生を行う。	多摩川において自然再生H30:1箇所)を実施し た。  森ヶ崎水再生センターに準高度処理の導入を進 めた。	自然再生を実施し、東京湾に流入する有機汚濁 および窒素・りん等の削減に寄与している。  森ヶ崎水再生センターへの準高度処理導入により 早期の水質改善に寄与している。	実施後の環境変化についてモニタリングを実施す る。  ・森ヶ崎水再生センターに準高度処理の導入を進 める。 ・森ヶ崎水再生センターに新たな高度処理の導入 を進める。	国土交通省水管 理・国土保全局 (関東地方整備 局)  東京都下水道局
		首都圏に ふさわしい	最先端の科学的知見が 充実した賢い海  東京湾岸で活動する 様々な人や企業が、楽 しみながら環境再生に 取り組んでいる海					

(別表2) アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時 実施予定施策】	施策の実施状況 (平成25年度～平成30年度)	施策の実施状況の分析・評価	今後の取組(令和元年度以降)	実施機関	
4 - 6	みなとみらい 21周辺	快適に水遊び ができる	裸足で遊べる、いつでも 安全で気持ちよい海	清掃船による浮遊ゴミ回収を推進する(横浜 港内全域)。	横浜港において、清掃船により浮遊ゴミを回収し た。<主要区域> 平成25年度:1,444M/T 平成26年度:1,428M/T 平成27年度:1,876M/T 平成28年度:1,479M/T 平成29年度:1,977M/T 平成30年度:1,155M/T	浮遊ゴミを回収することにより、景観・水質改善等 の向上に寄与している。	清掃船による浮遊ゴミの回収を推進する。	横浜市港湾局	
			家族連れでも気軽に水 遊びを楽しめる海	NPO等による海底ゴミの回収を推進する(山 下公園前)。	ボランティアダイバーにより海底清掃を実施した。 平成25年度:130人参加、1,200kgのゴミを回収 平成26年度:103人参加、1,500kgのゴミを回収 平成27年度:113人参加、800kgのゴミを回収 平成28年度:102人参加、400kgのゴミを回収 平成29年度:84人参加、243kgのゴミを回収 平成30年度:65人参加、440kgのゴミを回収	多くの参加者のもと海底清掃が行われ、親水性の 向上や海洋環境美化に対する意識向上が図られ た。	NPO等による海底ゴミの回収を推進する。		
			「江戸前」をは じめ多くの生物 が生息する	多様な生物が生息し、 豊富な「江戸前」の恵み が得られる海	蛇籠の設置、覆砂、アマモの植え付けを行い、実 験場を設置した(平成25年度)。 3月、7月、8月、10月に移植会、観察会等を実施し た(平成26、27年度)。民間企業が実験場を拡張し た(平成30年度)。 11月に移植会、観察会等を実施した(平成28、 29、30年度)。	実施水域において、アマモの発芽や生育、これま で観察されていない生物の生息を確認(着手前14 種、設置後最多116種。)することができ、多くの生 物が生息する水域づくりに寄与していると考え	引き続き、水環境向上及び生物多様性に関する 取組みを実施する。	横浜市港湾局	
		「江戸前」の味や文化を 世界に発信できる海							
		海辺に行きやすく、身近 で安心できる海	雨水滞水池整備、雨水吐改良、遮集管整 備、スクリーン設置による合流式下水道の改 善を推進する。	・雨水吐き改良、スクリーン設置を8か所で実施し た。 ・雨水滞水池(容量88,300m <sup>3</sup> )による貯留、放流水 の消毒を実施した。	整備を必要とする雨水吐施設の改良整備率は 84%に増加している。	引き続き計画期間2019年度～2023年度の合流式 下水道緊急改善計画に位置づけた雨水吐改良及 びスクリーン設置を実施する。	横浜市 環境創造局		
		親しみやすい	子どもからお年寄りま で、いつでも楽しみ、驚 きや感動がある海	横浜臨港パークにおいて、夢ワカメ・ワークショッ プを開催した。ワカメの育成、ワークショップや収 穫したワカメを活用した、料理教室を実施した。 H25年度:311人参加、801kg収穫 H26年度:304人参加、818kg収穫 H27年度:335人参加、867kg収穫 H28年度:303人参加1525kg収穫 H29年度:330人参加、843kg収穫 H30年度:330人参加、853kg収穫	毎年度300人以上の子どもたちを含む一般市民が 参加しており、ワカメの育成等を通じて東京湾の 浄化や環境意識の啓発が推進されている。	引き続き、NPO等と連携しながら、東京湾の浄化 や環境意識を啓発する活動の実施を予定してい る。	関東地方整備局 港湾空港部 横浜市港湾局		



(別表2)アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時】 実施予定施策	施策の実施状況 (平成25年度～平成30年度)	施策の実施状況の分析・評価	今後の取組(令和元年度以降)	実施機関
		美しい	赤潮や青潮が発生しない海	神奈川水再生センターの高度処理化を推進する。	神奈川水再生センターにおいて処理能力72,200m <sup>3</sup> /日の高度処理(循環式硝化脱窒法)を導入し、高度処理能力208,200m <sup>3</sup> /日で運転を実施している。	神奈川水再生センターの現有能力(407,800m <sup>3</sup> /日)に対する高度処理施設の能力の割合は51%に増加している。	神奈川水再生センターにおいて、処理設備の更新に合わせて高度処理化を推進する。	横浜市 環境創造局
			背後の都市景観と調和した美しい海	ワカメの育成による一般市民型の海域浄化活動を推進する。	横浜臨港パークにおいて、夢ワカメ・ワークショップを開催した。ワカメの育成、ワークショップや収穫したワカメを活用した、料理教室を実施した。 H25年度:311人参加、801kg収穫 H26年度:304人参加、818kg収穫 H27年度:335人参加、867kg収穫 H28年度:303人参加1525kg収穫 H29年度:330人参加、843kg収穫 H30年度:330人参加、853kg収穫	毎年度300人以上の子どもたちを含む一般市民が参加しており、ワカメの育成等を通じて東京湾の浄化や環境意識の啓発が推進されている。	引き続き、NPO等と連携しながら、東京湾の浄化や環境意識を啓発する活動の実施を予定している。	関東地方整備局 港湾空港部 横浜市港湾局
		首都圏に ふさわしい	最先端の科学的知見が充実した賢い海		横浜市内の浅い海域で生物生息環境を改善して豊かな海づくりを進める。	山下公園前の海域において、再生資材による浅場を造成し、生物生息環境の改善と水質浄化の向上を検討した(平成26～30年度)。	・実施後直ぐに魚類の蛸集が見られた上、時間の経過と共に生物種類数の増加がみられた。 ・二枚貝やホヤ等の増加による水質浄化効果が期待できる。	横浜市 環境創造局
			東京湾岸で活動する様々な人や企業が、楽しみながら環境再生に取り組んでいる海	ワカメの育成による一般市民型の海域浄化活動を推進する。	横浜臨港パークにおいて、夢ワカメ・ワークショップを開催した。ワカメの育成、ワークショップや収穫したワカメを活用した、料理教室を実施した。 H25年度:311人参加、801kg収穫 H26年度:304人参加、818kg収穫 H27年度:335人参加、867kg収穫 H28年度:303人参加1525kg収穫 H29年度:330人参加、843kg収穫 H30年度:330人参加、853kg収穫	毎年度300人以上の子どもたちを含む一般市民が参加しており、ワカメの育成等を通じて東京湾の浄化や環境意識の啓発が推進されている。	引き続き、NPO等と連携しながら、東京湾の浄化や環境意識を啓発する活動の実施を予定している。	関東地方整備局 港湾空港部 横浜市港湾局
		快適に水遊び ができる	裸足で遊べる、いつでも安全で気持ちよい海	清掃船による浮遊ゴミ回収を推進する(横浜港内全域)。	横浜港において、清掃船により浮遊ゴミを回収した。<主要区域> 平成25年度:1,444M/T 平成26年度:1,428M/T 平成27年度:1,876M/T 平成28年度:1,479M/T 平成29年度:1,977M/T 平成30年度:1,155M/T	浮遊ゴミを回収することにより、景観・水質改善等の向上に寄与している。	清掃船による浮遊ゴミの回収を推進する。	横浜市港湾局
			家族連れでも気軽に水遊びを楽しめる海					
		「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する	多様な生物が生息し、豊富な「江戸前」の恵みが得られる海					
			「江戸前」の味や文化を世界に発信できる海					

(別表2) アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時 実施予定施策】	施策の実施状況 (平成25年度～平成30年度)	施策の実施状況の分析・評価	今後の取組(令和元年度以降)	実施機関	
4 - 7	海の公園・八景島周辺	親しみやすい	海辺に行きやすく、身近で安心できる海	雨水吐改良、遮集管整備、スクリーン設置による合流式下水道の改善を推進する。	・雨水吐き改良、スクリーン設置を6か所で実施した。 ・雨水滞水池(容量41,600m <sup>3</sup> )による貯留、放流水の消毒を実施した。	整備を必要とする雨水吐施設の改良整備率は100%を達成した。	特になし。	横浜市環境創造局	
			子どもからお年寄りまで、いつでも楽しめる、驚きや感動がある海						
		美しい	赤潮や青潮が発生しない海	金沢水再生センターの高度処理化を推進する。	金沢水再生センターにおいて処理能力74,400m <sup>3</sup> /日の高度処理(嫌気無酸素好気法)を導入し、高度処理能力146,300m <sup>3</sup> /日で運転を実施している。	金沢水再生センターの現有能力(264,100m <sup>3</sup> /日)に対する高度処理施設の能力の割合は55%に増加している。	金沢水再生センターにおいて、処理設備の更新に合わせて高度処理化を推進する。	横浜市環境創造局	
			背後の都市景観と調和した美しい海						
		首都圏にふさわしい	最先端の科学的知見が充実した賢い海						
			東京湾岸で活動する様々な人や企業が、楽しみながら環境再生に取り組んでいる海		UMIプロジェクトに参画する企業がNPO等多様な主体と連携、協働して再生されたアマモ場の育成を実施した。	アマモ群落の分布範囲が広がりを見せており、数年にわたる移植・播種の成果が現れている。	引き続き、UMIプロジェクトを展開するとともに、新たな実施場所の検討を行う。	関東地方整備局 港湾空港部 横浜市港湾局	